

## 今週の株式相場見通し

- \* 日経平均 20,000~21,300円 TOPIX 1,500~1,610
- \* 期待材料 IoT社会の実現 IoT、AI活用による生産性改善 5G時代の到来
- \* 不安材料 地政学的リスク 貿易摩擦激化 中国経済の成長鈍化 欧州経済の減速

FRBのハト派転換に支えられ、米S&P500は3月21日に2,860.31(19年予想PERで17.2倍)まで上昇した。3月19~20日のFOMCを経てFRBのハト派姿勢はさらに鮮明となり、FF金利先物市場が織り込む年内の利下げ確率はFOMC前の20%台後半から70%半ばへ急上昇し、米国長期金利も2.4%割れへ大きく低下した。ただ、2月の米中古住宅販売件数は年率換算で551万件と、1月の493万件から大きく改善しており、金利低下に伴い米国経済は底堅く推移するものと思われ、年内にFRBが利下げに追い込まれる可能性は、今のところ低いものと思われる。しかし、金融市場ではFRBの年内利下げ実施をほぼ織り込んでいるため、利下げをしない、もしくは利下げ観測が後退すれば、タカ派的と見なされ、昨年12月にあったような市場混乱が再燃する可能性があり注意したい。

今週の予定では、1日発表の3月中国財新製造業PMIの結果が注目される。2月は内需がけん引し改善を示したが、先に発表されたドイツと日本の3月製造業PMI速報値では、中国などの景気減速の影響が続いており、製造業の活動は回復のきっかけをつかめていないことが示唆され、低調な結果となった。米中の貿易協議は長期化する様相も見せており、当面、製造業の業績低迷は継続するものと見られる。ECBは金融緩和度合いを強め、日銀にも追加緩和期待が一部で高まっているが、金利が上昇したことで景気が減速しているわけではないので、金融緩和の景気下支え効果は日欧では限定的となることを見込まれる。株価が、再度上昇トレンドに回帰するためには、米中貿易戦争の早期終結、中国の景気回復が必要となろう。(3月27日現在、松本 直志)

## 今週の予定

	国内	海外
4/1 (月)	新元号発表 働き方改革関連法の本格施行 日銀短観(8:50)	[中]付加価値税引き下げ [中]3月財新製造業PMI(10:45) [米]3月ISM製造業景況指数(23:00)
2(火)	日露戦略対話	[豪]中央銀行政策金利発表(12:30)
3(水)	AI・人工知能EXPO(~5日) コンテンツ東京2019(~5日) 選抜高校野球大会 決勝(予定) 3日日経日本PMI サービス業(9:30)	[米]劉鶴中国副首相訪米 [中]3月財新サービス業PMI(10:45) [米]3月ADP雇用統計(21:15) [米]3月ISM非製造業景況指数(23:00)
4(木)	日銀が量的・質的金融緩和の導入から6年 セブン&アイHD(3382)本決算	NATO設立70周年 [印]中央銀行政策金利(15:15)
5(金)	2月毎月勤労統計(9:00) 2月景気先行指数速報値(14:00) 2月景気一致指数速報値(14:00) サンエー(2659)本決算 スギHD(7649)本決算	[中]休場(清明節) [仏]G7外相会合(~6日) [独]2月鉱工業生産(15:00) [欧]2月小売売上高(18:00) [米]3月雇用統計(21:30)
6(土)	マタニティ&ベビーフェスタ(~7日) アウトドアデイジャパン東京(~7日)	[米]AORN Global Surgical Conference & Expo 2019(~10日)
7(日)	統一地方選	世界保健デー

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)  
本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきます。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

### 日東工業 (6651) 東証1部



	17年3月期 (百万円) 前年比	18年3月期 (百万円) 前年比	19年3月期(予) (百万円) 前年比	株価(3/28)	業種
売上高	106,627 -1.7%	108,080 1.4%	112,000 3.6%	2,206 円	電気機器
営業利益	6,598 -41.4%	5,751 -12.8%	7,000 21.7%	売買単位	100 株
経常利益	6,402 -41.5%	5,625 -12.1%	6,900 22.7%	PER(予想)	21.3 倍
当期純利益	4,506 -39.1%	2,883 -36.0%	4,200 45.7%	PBR(実績)	1.1 倍
EPS(円)	111.4	71.3	103.8	ROE(実績)	3.5 %
配当金(円)	50.0	40.0	40.0	配当利回り(予想)	1.8 %
				担当	多功 毅

出所：業績に関する数値は決算短信より

1948年設立の電気機器メーカーで、配電盤などの電気機器を収納するキャビネットを中心に、電気自動車用充電スタンド、情報通信機器の商社事業なども展開している。配電盤の国内シェアは、非住宅用で1位、住宅用で3位となっている。3月27日に、国内配電盤市場において住宅用で1位、非住宅用で3位のパナソニックと配電盤事業で協業開始を発表。来期中にもパナソニックの配電盤製品の一部などの受託生産を開始する計画となっている。今後については、一段の生産面での協業に加えて、開発分野にも協業が広がることが想定される。

太陽光発電バブルの崩壊以降苦戦が続いたが、19年3月期3Q決算は、配電盤関連製品事業が堅調な国内設備投資を受けて復調気味であり、加えて13年ぶりに打ち出した昨年10月からの値上げも順調に浸透したことで前年同期比6.2%増収、27.6%営業増益と好調に推移している。通期計画に対する進捗率も高水準であり、また4Qも値上げ効果の寄与が見込まれることから、計画を上回る業績推移が期待される。

来期に関しては、値上げ効果の通期寄与、TOBにより連結子会社化した北川工業の貢献、パナソニックとの協業開始によるシナジー効果などが業績のけん引役となることが期待される。なお、配当方針としては、「安定的な配当を維持することを基本に、連結配当性向30%を目標に連結純資産配当率等を勘案して実施」するとしており、一時的な業績の下振れに左右されにくく、安定した額の配当を行うことが可能としている。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 特集 銘柄スクリーニング(対象：東証1部以外)

銘柄コード	銘柄名	市場	株価(3/27)	決算期年/月	経常利益(会社) [百万円]	経常利益(東洋経済) [百万円]	乖離率 東洋経済 予想と 会社予想	決算期年/月	経常利益(東洋経済) [百万円]	増益率 東洋経済 予想	時価総額(億円)
3905	データセク	東マ	673	19/3	7	80	1042.9%	20/3	110	37.5%	79
7827	オービス	東JQ	696	19/10	16	80	400.0%	20/10	100	25.0%	12
2666	オートW	東JQ	126	19/3	49	200	308.2%	20/3	250	25.0%	19
4736	日本ラッド	東JQ	693	19/3	73	210	187.7%	20/3	230	9.5%	37
2484	夢の街創造	東JQ	2,034	19/8	117	320	173.5%	20/8	1,120	250.0%	891
9060	日ロジテム	東JQ	3,000	19/3	120	320	166.7%	20/3	330	3.1%	43
2334	イオレ	東マ	1,283	19/3	27	60	122.2%	20/3	200	233.3%	29
9873	日本KFC	東2	1,992	19/3	1,100	2,300	109.1%	20/3	2,700	17.4%	459
7746	岡本硝子	東JQ	205	19/3	200	390	95.0%	20/3	410	5.1%	47
3489	フェイスNW	東マ	1,097	19/3	850	1,500	76.5%	20/3	1,800	20.0%	60
2769	ヴィレッジV	東JQ	949	19/5	314	540	72.0%	20/5	570	5.6%	74
6198	キャリア	東マ	652	19/9	270	460	70.4%	20/9	510	10.9%	56
5446	北越メ	東2	1,098	19/3	200	340	70.0%	20/3	400	17.6%	44
6343	フリージア	東2	126	19/3	600	960	60.0%	20/3	1,160	20.8%	56
4396	システムサポ	東マ	1,434	19/6	400	620	55.0%	20/6	670	8.1%	72
2813	和弘食品	東JQ	2,831	19/3	94	145	54.3%	20/3	210	44.8%	28
9903	カンセキ	東JQ	1,681	19/2	820	1,250	52.4%	20/2	1,350	8.0%	134
6249	GCジョイコ	東JQ	1,385	19/3	2,000	3,000	50.0%	20/3	3,200	6.7%	202
6193	パーチャレク	東マ	697	19/3	50	75	50.0%	20/3	115	53.3%	21
2669	カネ美食品	東JQ	3,045	19/2	548	810	47.8%	20/2	1,050	29.6%	302
2304	CSS	東JQ	408	19/9	231	340	47.2%	20/9	350	2.9%	22
6276	ナビタス	東JQ	477	19/3	170	250	47.1%	20/3	270	8.0%	27
4391	ロジザード	東マ	3,470	19/6	165	240	45.5%	20/6	300	25.0%	101
7927	ムトー精工	東JQ	586	19/3	850	1,200	41.2%	20/3	1,300	8.3%	46
3847	パ・システム	東JQ	3,295	19/3	573	800	39.6%	20/3	900	12.5%	52
5962	浅香工	東2	1,780	19/3	130	180	38.5%	20/3	190	5.6%	18
3917	アイリッジ	東マ	1,082	19/3	65	90	38.5%	20/3	220	144.4%	69
2892	日食品	東2	1,681	19/3	300	400	33.3%	20/3	800	100.0%	109
6554	エスユーエス	東マ	947	19/9	608	800	31.6%	20/9	1,050	31.3%	81
9353	桜島埠	東2	2,121	19/3	65	85	30.8%	20/3	145	70.6%	32
6867	リーダー電子	東JQ	917	19/3	270	350	29.6%	20/3	400	14.3%	37
8072	出版貿	東JQ	1,480	19/3	85	110	29.4%	20/3	140	27.3%	10
9791	ピケンテクノ	東2	892	19/3	1,400	1,800	28.6%	20/3	2,000	11.1%	70
1431	リブワーク	福Q-Board	980	19/6	420	540	28.6%	20/6	610	13.0%	24
6648	かわでん	東JQ	2,956	19/3	1,090	1,400	28.4%	20/3	1,500	7.1%	126
7254	ユニバンス	東2	319	19/3	1,100	1,400	27.3%	20/3	1,450	3.6%	75
6542	FCHD	東JQ	833	19/6	550	700	27.3%	20/6	750	7.1%	33
7939	研創	東JQ	413	19/3	277	350	26.4%	20/3	380	8.6%	17
9017	新潟交	東2	2,040	19/3	1,150	1,450	26.1%	20/3	1,480	2.1%	83
3772	ウェルス	東2	1,328	19/3	1,270	1,600	26.0%	20/3	1,800	12.5%	110
3356	テリロジー	東JQ	1,002	19/3	183	230	25.7%	20/3	280	21.7%	157
8247	大和デ	東2	553	19/2	200	250	25.0%	20/2	300	20.0%	33
4770	エルミック	東2	340	19/3	40	50	25.0%	20/3	90	80.0%	21
2330	フォーサイド	東JQ	179	19/12	4	5	25.0%	20/12	50	900.0%	55
7923	トーイン	東JQ	523	19/3	400	500	25.0%	20/3	520	4.0%	33
2385	総医研HD	東マ	585	19/6	600	750	25.0%	20/6	900	20.0%	149
6086	シンメンテ	東マ	2,452	19/2	504	630	25.0%	20/2	750	19.0%	130
3995	スキヤキ	東マ	1,029	20/1	200	250	25.0%	21/1	300	20.0%	105
5283	高見沢	東JQ	1,920	19/6	750	930	24.0%	20/6	960	3.2%	33
3437	特殊電極	東JQ	5,140	19/3	737	910	23.5%	20/3	1,010	11.0%	41

\* 会社四季報春号の発売に伴い、東証1部上場以外の企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について3/27に検索したところ240銘柄が該当した。ここでは、その中から今期経常利益予想について会社発表を東洋経済が上回る企業について乖離率上位50社を掲載している。幅を持った予想業績を開示している企業は、下限予想と比較。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室